

プレガルディエン

WINTERREISE



クリストフ・プレガルディエン
テノール
Christoph Prégardien
Tenor



ミハエル・ゲース
ピアノ
Michael Gees
Piano

冬の旅

F. シューベルト：歌曲集「冬の旅」 op. 89, D 911 全曲

お休み / 風見の旗 / 凍った涙 / かじかみ / 菩提樹 / あふれる涙
川の上で / 回想 / 鬼火 / 憩い / 春の夢 / 孤独 / 郵便馬車
霜おく頭 / からす / 最後の希望 / 村で / あらしの朝 / 幻覚
道しるべ / 宿屋 / 勇気 / 幻の太陽 / 辻音楽師

2020 11.6 ^{FRI} **金** 開演■19:00
[開場■18:30]

松本市音楽文化ホール
(ザ・ハーモニーホール)

Tel 0263-47-2004 / Fax 0263-47-2383



〒390-0851 長野県松本市島内 4351 URL www.harmonyhall.jp

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

★託児サービス(有料・事前申込)があります。お問い合わせはホールまで。

主催■松本市音楽文化ホール
後援■松本市 / 松本市教育委員会 / 信濃毎日新聞社 / 市民タイムス / MGプレス / FMまつもと / あづみ野エフエム
松本商工会議所 / 公益財団法人八十二文化財団 / 一般社団法人長野音協
協力■ハーモニーメイト

全席指定

■一般 / 5,000円

■ハーモニーメイト / 4,000円

■U-25 / 2,000円

【発売開始】

◎メイト先行 / 8月1日(土) ①窓口10:00 ②電話14:00

◎一般発売 / 8月15日(土) 10:00

[プレイガイド]

Confetti [カンフェティ] <http://www.confetti-web.com>
EVENT-NAGANO <https://www.event-nagano.net>

※ハーモニーメイト割引チケットは、松本市音楽文化ホールのみでの取扱となります。

現代最高の正統派リート歌手クリストフ・プレガルディエンが歌う、シューベルト『冬の旅』。プレガルディエンの歌は、きわめて雄弁だ。ある音楽家は「プレガルディエンの中には音楽家と語り部が共存している」と語ったが、まさにその通り、ことばがひとつひとつ立ち上がってくる。そんなプレガルディエンが何百回と歌い重ねてきた『冬の旅』は、余人の及ばぬ境地に到達している。ピアノは、長年にわたってデュオを組み、深い信頼で結ばれたミヒャエル・ゲース。当代最高の『冬の旅』を、松本で。

©Hans_Morren

クリストフ・プレガルディエン (テノール)

1956年ドイツ・リンブルク生まれ。

リンブルク大聖堂の聖歌隊で初めての音楽教育を受ける。フランクフルト音楽大学で学んだのち、ミラノ、シュトゥットガルトで研鑽を積む。在学中にドイツ放送音楽コンクールに優勝。以来、優れたリリック・テノールとして、オペラ、オラトリオ、リートの各分野で高く評価されている。レパートリーは、バロック、古典派、ロマン派のオラトリオや受難曲からオペラ、ブリティッシュ、キルマイヤー、リーム、ストラヴィンスキーなどの現代曲まで幅広く、レオンハルト、ブリュッヘン、コープマン、ギグスヴァルト・クイケンといった古楽器演奏の名指揮者たちとの優れた共演はもちろんのこと、リート歌手としても円熟味を増した名演が多い。とくに、ゲース、また、フォルテピアノのアンドレアス・シュタイアーとのリートデュオは長く、欧米各地で常に好評を得ている。CDも数多く、シュタイアー、ゲースとのリート、宗教曲のソリストなど、その録音枚数は130枚を超えている。

近年は後進の指導も熱心で、各地のマスタークラスに講師として招かれる他、2005年までスイス国立チューリッヒ音楽大学、2004年からはケルン音楽大学教授として、若手の育成に貢献している。日本でも、1992年「〈東京の夏〉音楽祭」にてモンテヴェルディ「ユリシーズの帰郷」主役、1998年マラー「大地の歌」(室内楽版/共演:白井光子)、2000年白井光子/ハルトムート・ヘルとヴォルフ「イタリア歌曲集」、コープマン指揮ラ・プティットバンドによるバッハ「マタイ受難曲」エヴァンゲリスト、2002年再び「〈東京の夏〉音楽祭」でツェンダー版/オリジナル版による「冬の旅」2夜連続出演に挑むなど、多彩な演奏活動で多くの聴衆を魅了している。その後は、ほぼ2年おきに来日し、トッパンホールで「リートの森」シリーズに出演し、各地でリートリサイタルを開催している。

ミヒャエル・ゲース (ピアノ)

1953年ドイツ・ビーレフェルト生まれ。

幼少の頃から劇場に足を運ぶなど、恵まれた音楽環境に育ち、早くからピアニストとして活躍をはじめ。1961年にはハンブルクのスタインウェイ・コンクールおよびザルツブルク・モーツァルトウム給費コンペティションで第1位を受賞、その後モーツァルトウム音楽院に学び、若干10歳で故郷でのデビューを果たした。ウィーン音楽アカデミーでM.R.ザイドルホーファー、J.N.ダーヴィットに学んだのち、デトモルト、ハノーヴァーでさらに研鑽を積み、同時にジャズや作曲にも熱心に取り組んだ。また、フランクフルトでは歌劇場のピアニストをつとめ、歌手について幅広い知識、経験を積んだ。

1986年にはソリスト、伴奏者、そして作曲家としてシュレスヴィヒ=ホルスタイン音楽祭に参加。その後も、ピアニストとしてはもちろん、作曲家としても、ピアノ曲をはじめ、歌曲、合唱曲、オーケストラ作品、そして劇音楽など、幅広い活動を繰り広げている。ゲースの多彩な経験に基く声楽・器楽双方に対する幅広い知識は、音楽に対する彼の確かな解釈の裏付けともなり、譜面に書かれている音符を実際に音にする時、常に共演者との関わりがより深まるようなアプローチでのぞむ。ソリストとして演奏する場面であっても、生まれながらの室内楽奏者としての特性を生かしていると言える。

プレガルディエンとのデュオは長く、今までに、ロンドン・ウィグモアホール、ミラノ・スカラ座、ニューヨーク・カーネギーホールなどで共演している。日本でも、2002年「〈東京の夏〉音楽祭」に参加、シューベルト「冬の旅」で名演を披露し絶賛を博している。2009年にトッパンホールに登場し、以来ほぼ2年おきにプレガルディエンと来日共演している。

ザ・ハーモニーホール 友の会

「ハーモニーメイト」募集のご案内

会員になると

ご一緒しませんか? 喜びと出会いをわかちあうひととき

1. 情報誌「ハーモニー」をお手元に

音楽記事やザ・ハーモニーホールでの催しが満載の情報誌「ハーモニー」を年6回お届けいたします。

2. 割引のある催しでお得な気分

ホールが主催する演奏会の入場料の割引が受けられます。

3. メイト主催事業への参加も

全国有名ホールバスツアー等へ参加できます。

会員の種類と会費は

Harmony Mate

- 個人会員：年会費 **2,000円** ※ご本人様のみ登録できます。
- 家族会員：年会費 **3,000円** ※同一世帯の4名まで登録できます。
- 団体会員：年会費 **10,000円**
※10名まで登録可能。職場やサークル、音楽団体等でご入会ください。
- 賛助会員：年会費 **50,000円**
※当地域における音楽文化向上のため、この「ハーモニーメイト」に賛助ご協力いただける法人、団体、個人。
(情報誌「ハーモニー」へ、年2回広告の無料掲載ができます。)

【お申し込み・お問い合わせ】

ハーモニーメイト事務局 Tel.0263-47-2004/Fax.0263-47-2383

〒390-0851

長野県松本市島内4351 ザ・ハーモニーホール内